

甦生の光

この光は、神（宇宙創造神）からもたらされた
永遠普遍の愛の光です。

神（宇宙創造神）の永遠の愛が
天界と霊界と地上界に満ちあふれますように
光あれ！ 光あれ！ 光あれ！

銀河の長き苦悩の歴史を超えながら
地球人類に希望の光を捜し求め
導いてこられた宇宙生命体に
光あれ！ 光あれ！ 光あれ！

救いの光を求める地球霊界の霊人たちよ！
神意に生きる者たちの道を開き助けることで
あなた方にも神の子、太陽の子として
救いの光がもたらされますように
光あれ！ 光あれ！ 光あれ！

救いを求めるすべての人が
神宿る自らに目覚めることで
希望と愛に満たされた地上世界となりますように
光あれ！ 光あれ！ 光あれ！

神宿る私の心が、永遠の愛の光に満ちあふれ
世の光となりますようにお導きください。
神の子〇〇の名によってお祈り致します。

永遠普遍なる宇宙本源の愛の光は、全ての闇を照らし、
生きとし生きるものすべての心を癒し、その内に宿る神性を啓発させ輝かせる永遠の命です。
光の使者となる皆様に「甦生の祈り」を捧げたいと思います。
愛の光をイメージしてお祈りください。

とりなしの祈り (聖別の祈り)

1. 神の子〇〇の身と心を、
あなたの御力（みちから）により
聖別して下さいますように、お祈り申し上げます。
2. 神の子〇〇の身にいかなる試練があろうと、
困難があろうとも、あなたの全能の御力（みちから）と
愛と赦しを信じ貫いてゆくことのできる不屈の信念と
普遍なる愛を与えて下さいますように、
お祈り申し上げます。
3. 過去の多くの義人・聖人が歩んだごとくに
親の心情、僕（しもべ）の体をもって、
あなたの願いに生きることが出来る神の子〇〇として、
導いて下さいますように、お祈り申し上げます。
4. 神の子〇〇の心に命（生命力）と希望と潤いと安らぎを、
そして、真（まこと）の愛が宿ることが出来るよう
導いて下さいますように、お祈り申し上げます。
5. 神の子〇〇の全ての行動と言動が、
あなたの御心のままに動じ静（せい）ずることが出来るよう
導いて下さいますように、お祈り申し上げます。
神の子〇〇の名によってお祈り致します。

聖別の祈りは、自分の霊的背景と、祈る対象の霊的背景を浄化するためのものです。
真心込めて言葉の意味を噛みしめながら祈ることで、確実に浄化の力が臨みます。
〇〇の中に自分、または祈る対象となる相手の名前を入れて祈ってください。
真実の祈りは必ず通じることを信じ、心から祈ってください。
「あなた」とはヤハウエ、または、あなたの守護神（天使）を指しています。
あせらず信じて祈ってください。

霊界創生の基本

あなたの神性の光を奪おうとする霊界人達に向かい、神の子の自覚で宣言して下さい。

あなた方は、永遠の光を求めて地上人にすがすが、
そのために多くのカルマを地上人に背負わせてしまうことは、
かえってあなた方の過重の罪作りであって、
あなた方の救いのために、地上人を苦しめてしまうことになる。

本来あなた方にも宇宙本源の神性が宿っているのであって、
その神性の光を自らの中に輝かせることで、
自ら永遠に生きる命の光を、自体内で得ることができるのである。

だから地上人の光を奪ったり、
憑依・寄生してその欲求を満たすのではなく、
地上人が自らの内に神性の光を輝かしながら、
地球創生の大偉業に参加して行く道を整えるために、
地上世界の地球創生計画に協力すべきである。

あなた方は自らの子孫をはじめとする地上人の
霊的成長と進化を助けるべきであって、
勝手に地上人にすがり憑依するのは、
永遠の救いの計画に反する反逆行為である。

だから自ら徳積みを目的に地上人に働く以外に、
地上人の身体に寄生したり、憑依したりしてはいけない。
この原則に従わない霊は、例外なく永遠の霊的滅びに至るだろう。
あなた方は、このことを肝に銘じるべきである。

だから地球創生のために、
地上人の神の子意識への目覚めを助け導きながら、
ともに地上人が成長進化して行くその霊的な恩恵を共有しながら、
ともに霊的成長と進化の道をたどるべきです。

これが霊界人の成長進化の極意なのであって、
新しい霊界創生の基本である。

神の子〇〇の名によって宣言します。

新平和の祈り

わたしを
あなたの平和の使者とならせてください。

憎しみのあるところに愛を
争いあるところにゆるしを

分裂のあるところに一致を
疑いのあるところに信頼を

誤りのあるところに真理を
絶望のあるところに希望を

悲しみのあるところに喜びを
闇のあるところに光をもたらすことができますように

慰められるよりも、慰めることを
理解されるよりも、理解することを
愛されるよりも、愛することを

わたしたちは与えるので与えられ
許すので許され

永遠の愛に自分自身をゆだねることで
永遠の愛に生かされ
生きることができるのです。

ヤハウエはじめ宇宙生命体への祈りーI

長き悠久の人類歴史を、人知れず苦悩の中で今まで導いてこられた、愛なるヤハウエとその宇宙種族に、心から感謝し、お礼を申し上げます。

あなた方は、私たち人類の成長進化を夢見ながら、気の遠くなるような年月を耐え忍び、人類の救いのチャンスを断念せざるを得ない絶望の峠を、いく度も乗り越えながら、私たち人類をこれまで導いてこられ、ようやく今回のラストチャンスを迎える心境は、いかばかりのものありましょくか。あまりにも深いその心情、事情、願いを察し切れない私たち人類であることを思いますと、心痛く、心から申し訳なく思います。

あなた方宇宙生命体の寿命からすれば、人類の寿命は、あなた方が瞬きする一瞬のできごとであり、このような小さな私たちに、銀河歴史の救いと悲願を託さなければならない親の心境は、どれほど大変で辛く、また切ないものでありましょくか。

過去の人類歴史にも、あなた方の願いを託された数多くの義人、聖人がおりましたが、総じて今の時代を迎えるために、血と涙の犠牲の道をたどったのであり、そのことを知る私たちは、その苦難の道をも、真の愛と不屈の精神で乗り越えながら、地上と霊界すべての救いの門を開いて行く使命が託されていることを自覚し、この道を歩んでまいりたく思います。

私たち人類は、あなた方から見れば、不足の多い小さなチリのような存在であります、銀河人類の救いと悲願が託された私たち地球人類であるという立場を、最善の限り自覚し、命続く限り、その責任遂行のために全力投入する立場をお許しいただき、ヤハウエをはじめ、宇宙連合体のみなさまと一体連携して、地球創生の道を邁進することを心からお誓い申し上げます。

私たち人類は、地球創生に向けた、あなた方のような優れた叡智は持ち合わせてはおりませんが、ヤハウエをはじめ、宇宙生命体のみなさまの体として働くことができます。3次元世界に体を持ち合わせないあなた方の体として、私たちを十分に活用していただき、ともに地球創生の道を開いて行きたいと、心から懇願申し上げます。

不足の多い私たちではありますが、どうぞ、あなた方の叡智とエネルギーを私たちに投入し、私たちに誤りがあれば正し、真意にかなう道を歩むことができますように、お導きください。ヤハウエをはじめ、あなた方の希望の光として、地球創生の担い手となることを心からお誓い申し上げ、誓いの祈りとさせていただきます。

天に希望の光あれ！

地に希望の光あれ！

そして永遠の愛の光が、天地にあまねく満ちあふれるように、心からお願い申し上げます。

ヤハウエはじめ宇宙生命体への祈りーII

ヤハウエはじめ、あなた方宇宙生命体がたどられた、悠久の歴史に隠された銀河歴史の背後の事情、そして、あなた方の心の痛みに触れてしまった今、また、その心の痛みは私たち人類の責任ゆえの傷であることを知ってしまった今、私たちは、あなた方に心からお詫びを申し上げるべき罪深い存在であることを知りました。

そのため、私たち人類は、あなた方を見捨てることはできず、あなた方の心の傷のすべてを癒し解放すべき責任があることを悟りました。

そして、その心の傷を癒し、あなた方の心を解放するということは、すなわち、あなた方の遺伝子が流れる地球人類の魂を、苦悩と穢れのカルマから解放し、人類誰もが神の子として安住することのできる、銀河・宇宙人類の希望の星として、水の惑星地球を創生するという悲願を成就することが、あなた方の苦悩と心の傷を癒す道であり、親の心を解放する子どもたちの義務と責任であることを知りました。

あなたの苦悩は、あなたゆえのものではなく、子どもである私たち人類ゆえのものでありますが、それを見捨てることなく、今まで人類創造の時から、私たちを育み導いてこられた歴史の背後には、あなた方ご自身が、宇宙本源の愛の法に生きるために苦悩してこられた、親の愛の証であることを理解することができます。

人類は誰もが、自らの内に神性を宿す神の子として創造されていることに目覚めるときです。あなた方の事情と心情に触れた今、真の愛を守るために苦しんでこられたあなた方をはじめ、歴史の苦悩を解放するために尽力した多くの義人、聖人のすべての心の傷を癒し、天地の苦悩のすべてを解放して行くことのできる私たちとして、新しい希望の烽火を上げることを、心からお誓い申し上げます。

人類は、あなた方の育みと導きの中で、ようやく宇宙本源の愛に触れ、その愛の光を自ら輝かせることのできる希望の時代を迎えました。あなた方が人類と一緒に安住できる理想世界を、ともに建設して行くために、すべての力をお貸し下さいますように、心から懇願申し上げます。

天に希望の光あれ！

地に希望の光あれ！

そして永遠の愛の光が、天地にあまねく満ちあふれるように、心からお願い申し上げます。